



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 堺化学工業株式会社  
コード番号 4078 URL <http://www.sakai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

(氏名) 藪中 巖  
(氏名) 福田 健太郎  
配当支払開始予定日

TEL 072-223-4111  
平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	44,327	13.3	3,973	74.4	3,805	77.6	2,010	133.1
22年3月期第2四半期	39,113	△17.5	2,277	△11.7	2,142	△18.5	862	△23.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	20.34	—
22年3月期第2四半期	8.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	110,985	74,878	61.2	685.70
22年3月期	110,913	74,071	60.2	677.03

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 67,940百万円 22年3月期 66,804百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,500	6.5	6,700	25.7	6,200	22.5	3,200	44.4	32.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	104,939,559株	22年3月期	104,939,559株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	5,858,253株	22年3月期	6,266,407株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	98,869,589株	22年3月期2Q	99,844,134株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とする輸出や生産の増加に伴い企業収益も改善を見せる等、引き続き緩やかな回復基調にありましたが、9月以降は動きが弱まるとともに、急激な円高や株安等もあり、先行き不透明な中で推移しました。

このような状況のもと、当グループにおきましては、引き続き高品質・高付加価値製品の販売強化に努めたほか、グループ経営の効率化を推進し、事業全般にわたるコストダウン等にも一層注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44,327百万円と前年同期に比べ5,214百万円（13.3%）の増収となりました。また損益面におきましては、営業利益は3,973百万円と前年同期に比べ1,695百万円（74.4%）の増益、経常利益は3,805百万円と前年同期に比べ1,663百万円（77.6%）の増益、四半期純利益は2,010百万円と前年同期に比べ1,147百万円（133.1%）の増益となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、110,985百万円と前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。これは主として現金及び預金と受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。負債は36,106百万円と前連結会計年度末に比べ735百万円減少しました。これは主として支払手形及び買掛金や長期借入金が増加し、未払法人税等が増加したことによるものです。また、少数株主持分を除く純資産は67,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,135百万円増加しました。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成22年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### (簡便な会計処理)

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末に算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

#### ②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的に算定する方法を部分的に適用しております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を適用しております。

#### (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (会計処理の原則・手続の変更)

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

#### ②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

#### (表示方法の変更)

#### 四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,718	20,083
受取手形及び売掛金	26,735	26,038
商品及び製品	7,607	7,169
仕掛品	2,573	2,612
原材料及び貯蔵品	2,711	2,755
その他	1,098	1,050
貸倒引当金	△105	△120
流動資産合計	61,340	59,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,597	10,817
機械装置及び運搬具（純額）	8,651	9,042
土地	17,039	17,066
その他（純額）	2,165	2,531
有形固定資産合計	38,453	39,457
無形固定資産	276	150
投資その他の資産		
投資有価証券	6,744	7,692
その他	4,257	4,164
貸倒引当金	△86	△139
投資その他の資産合計	10,915	11,716
固定資産合計	49,645	51,324
資産合計	110,985	110,913
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,602	9,940
短期借入金	10,269	10,128
未払法人税等	1,610	830
賞与引当金	1,189	1,153
その他の引当金	89	132
その他	4,345	4,847
流動負債合計	27,106	27,033
固定負債		
長期借入金	2,614	3,240
退職給付引当金	4,762	4,809
その他の引当金	474	524
その他	1,148	1,234
固定負債合計	9,000	9,808

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債合計	36,106	36,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,838	21,838
資本剰余金	19,281	19,311
利益剰余金	29,096	27,480
自己株式	△2,378	△2,543
株主資本合計	67,837	66,087
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	183	793
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	△83	△74
評価・換算差額等合計	102	717
少数株主持分	6,938	7,266
純資産合計	74,878	74,071
負債純資産合計	110,985	110,913

(2) 四半期連結損益計算書  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	39,113	44,327
売上原価	30,237	33,528
売上総利益	8,875	10,798
販売費及び一般管理費	6,598	6,825
営業利益	2,277	3,973
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	69	62
負ののれん償却額	—	72
その他	187	69
営業外収益合計	263	209
営業外費用		
支払利息	88	85
為替差損	123	162
その他	185	129
営業外費用合計	398	378
経常利益	2,142	3,805
特別利益		
過年度損益修正益	21	—
投資有価証券売却益	7	—
負ののれん発生益	—	283
その他	1	0
特別利益合計	30	283
特別損失		
固定資産除却損	—	33
減損損失	—	205
投資有価証券評価損	148	12
特別損失合計	148	251
税金等調整前四半期純利益	2,023	3,837
法人税等	955	1,638
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,199
少数株主利益	206	188
四半期純利益	862	2,010



（3）継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。